

令和3年度

一日看護師体験

～ 新潟県内 高校生の体験集 ～



公益社団法人 新潟県看護協会

高校生一日看護師体験事業の体験集に寄せて

今、人々には2040年を見据えた社会の変化、さらに今般の新型コロナウイルス感染症の影響を受けての社会の変化に対応していくことが求められています。

看護職には、医療機関での看護、地域で療養されている方への看護、地域住民に対する保健活動などに加え、地域で暮らす全ての人々を支える健康な社会の醸成にも力を発揮することが求められています。さらに、自然災害や今回の新型コロナウイルス感染症の拡大等、危機的な試練に直面した際に、看護の力をより強く発揮しなければなりません。

その中で、新潟県看護協会では、若い世代に看護の魅力を伝え、看護に対する認識や理解を深めてもらい、進路の選択にあたり看護職を志す動機づけの機会として、高校生一日看護師体験事業を行っています。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、事業の中止を余儀なくされました。今年度は、県内50病院のご協力のもと、323名の高校生が一日看護師体験事業に参加されました。例年の1/3の参加者数ではありましたが、新型コロナウイルス感染症の収束の見通しが見えない中で、本事業をご理解いただき、ご協力いただきました病院管理者様、看護部長様、臨床現場の指導者様、そして教育機関の皆様へ深く感謝申し上げます。

体験集では、「一日看護師体験を通して感じたこと」をはじめ、「めざす看護師像」や「看護師になることへの決意」など、感想や力強い決意を寄せていただきました。看護職は、人々が尊厳を守られながら、希望する場で、自分らしく暮らし続けられることに貢献する職業です。この体験から、しっかりと人と向き合い、こころに寄り添う看護を提供できる看護職をめざしていただくことを願っています。

令和3年11月

公益社団法人 新潟県看護協会
会長 斎藤有子

令和3年度 高校生一日看護師体験事業

- ◆目的 高校生が病院において、看護職の業務を体験することにより、看護に対する認識と理解を深めるとともに、進路の選択にあたり看護職を志す動機づけの一助とする。
- ◆内容 ①講話（病院等における看護職の役割など）
②病院内の見学
③看護業務の体験、患者さんとのふれあい
④病院職員との懇談会
⑤進路情報の提供
⑥看護職の看護学生時代の体験談を聞く
⑦アンケートや感想文の記入、写真撮影等
⑧その他、病院独自のプログラムにて
- ◆参加施設 病院 50 施設
- ◆期間 令和3年7月29日～令和3年8月20日

目 次

高校生からの「一日看護師体験」感想文	4
「一日看護師体験」協力病院担当者からの声	22
「一日看護師体験」参加生徒アンケート結果	24
「一日看護師体験」の様子	26
「一日看護師体験」協力病院実施状況	30

高校生からの「一日看護師体験」感想文

体験をして印象に残ったこと 村上高等学校 3年 山田 菜々子



私は今回の高校生1日看護師体験で、村上記念病院に行きました。私の夢は看護師になることなので、看護師の仕事についてよりよく学びたいという思いから、この体験に参加させていただきました。

私が一番印象に残っている体験は、模型を使った採血です。実際の針を使ったので、緊張し上手にできませんでした。ですが看護師の方たちが採血をするだけでなく、不安を与えないよう優しい声掛けをしている姿を見て強い憧れをもちました。

この体験を通して、看護師は常に優しい心を持ち、患者さんに寄り添える職業だと思いました。そして、看護師になりたいという思いが強くなりました。

看護体験で学んだこと 村上桜ヶ丘高等学校 3年 長柄 妃奈



私は、今回の看護体験で、思いやりの大切さを学びました。透析患者さんの処置を見学させてもらった時です。腕に針を入れる時、患者さんはとても痛がっていました。しかし、看護師さんが「痛いよね」と患者さんの気持ちに寄り添い、素早く処置を終わらせていました。このことから、患者さんが安心して治療をするためには、思いやりの気持ちが大切なのだ学びました。また、病院のスタッフの皆さんは、患者さんとの会話を大切にしているように感じました。それが院内を明るくし患者の笑顔を大きくしていると思いました。

私は、思いやりの気持ちを持った看護師を目指します。今回の体験を活かして、理想の看護師に近づけられるように頑張ります。

村上中等教育学校 5年 齋藤 栞葉



私は、チーム医療における看護師のリーダー像を学び、また、MSWの経済的課題の支援や医療制度の紹介など、患者さまとご家族にとってベストな医療を提供する姿勢に感心をし、医療と地域社会の連携の理解を深めることができました。看護師さん

のお話で、人としての優しさと思いやりの心で相手に伝わるケアを提供するという
ことに深く共感しました。現代はAIやロボットなども医療に取り入れられていますが、
人の痛みに寄り添うことができるのは人です。看護師はその役目の最先端であると思
えました。

私は、この看護体験で看護の道を志す気持ちが高まりました。グローバル化する世
界と医療に対応できる医療人になりたいです。

憧れの看護師像

新発田高等学校 2年 星野 実乃莉



私が看護師体験を通して感じたことは、患者さんへの心のケアの大切さです。話す
ことが困難な患者さんに背中をさすりながら声をかけて様子をうかがっている看護師
の方の姿がとても印象的でした。様々な不安を抱えている患者さんたちにとって、看
護師の方々のサポートが大きな支えになっていることを学びました。また、点滴の注
射を打つところや、血液を採取するところを目の前で見ることができ、とても貴重な
経験になりました。将来、看護の道を目指す上で、今回見て感じたことを忘れずに、
患者さんの心に寄り添うことができる看護師になりたいです。

看護師体験に参加して

新発田南高等学校 3年 野寄 花梨



私は高校生になって2回目の1日看護師体験だった。コロナ感染予防のため、中止
になった体験があったが、その中で私は初めてAEDと心臓マッサージを体験した。
AEDは丁寧に貼る場所が書いてあり、指示もしてくれるので使いやすかった。心臓
マッサージは思ってる以上に力が必要だと知った。それをしている医療者さんの
偉大さを感じた。最後に看護師さんたちの中に私と年齢が近い看護師さんがいて、
看護学校や受験についてお話をしてくれたりなど本当に楽しい時間を過ごした。
看護師さんたちはとても優しく仲良くしている姿を見て、私は看護師になりたいと強く
思った。今回、この看護師体験に参加することができて良かった。

初めての看護師体験をとおして 中条高等学校 3年 木村 彩愛



初めての看護師体験をとおして、改めて看護師になりたいと思いました。

私は初めての看護師体験でとても緊張していました。しかし、看護師の方々が笑顔で話しかけてくださって、安心して体験をすることができました。その時、笑顔だけで安心できるということを知りました。患者さんの立場だったらとても心強いだらうなと思いました。

だから、自分が看護師になったら、常に笑顔で患者さんと接することを心がけたいです。

以上のように、この体験を通じて、私は看護師を目指す決意を新たに、目標に向かって努力していきます。今回の体験で大変お世話になった皆様、ありがとうございました。

体験をして印象に残ったこと 新潟東高等学校 3年 渡辺 七虹



一日看護師体験では、普段入れない所を見学することができました。その中でも、手術室は初めて入ったので印象に残っています。手術室の雰囲気は冷たく、怖いなと思いました。手術室にはいくつかの工夫があることを学びました。それは、衛生管理のため扉はすべて手を使わず足でボタンを押して開けることと、手術を受けている人の心をおちつかせるために音楽をかけることです。また、腎臓の病気を治すために血管を太くする治療をしている病室に行きました。そこには、看護師の他に臨床工学技師の人がいました。私は入院していた患者さんの太くした血管の脈音を聴診器を使って聴きました。一日看護師体験は、私にとって貴重な体験になりました。

夢への一歩

新潟中央高等学校 3年 長谷川 万莉



私は将来、チーム医療の中で中心となって活躍し、患者さんの目線になってケアをすることができる看護師になりたいと思い、実際に看護師を体験させて頂きました。

今年はコロナ禍のため、患者さんに接する機会はありませんでしたが、体験先の病院の紹介や施設見学、AED や聴診器で心音を聴く体験や看護師さんに質問させて頂きました。質問では、看護師の一日の様子や大変なこと、やりがいなどを聞くことができ、看護師への理解がさらに深まりました。また、他職種が協力し合うことの重要さも改めて知ることができ、体験を通して自分の目指す看護師像のイメージが膨らみました。この経験を生かし、理想の看護師になれるよう頑張りたいです。

看護師体験を通して

新潟南高等学校 3年 鈴木 麻矢



今回参加させて頂いた看護師体験を通して大きく変わったことがあります。それは看護師になりたいという気持ちです。これまではただぼんやりとした将来の夢の一つにすぎませんでした。ですが今回、普段は見ることの出来ない病棟の見学、実際の看護師さんの仕事、そして一番感動したのはナース服に手を通した時です。自分の気持ちがはっきりした、そんな体験でした。そして何より、優しく楽しく多くのことを教えて下さった看護師の皆さんに大きな憧れを抱きました。夢に向かって頑張っていこうと思います。貴重な体験をありがとうございました。

体験をして印象に残ったこと 新潟江南高等学校 3年 井上 陽香



私が今回一日看護師体験を通して印象に残ったことは、手術室で実際に使用するガウン、キャップ、手袋を着用して医療器具に触れたり、ストレッチャー移動体験をしたことです。手術室での体験はとてモリアルで、看護師の仕事は患者の命を扱うため、大きな責任感をもつことが必要だと感じました。

以前にも一度看護師体験に参加したことがあり、その時は看護師が患者とコミュニケーションをとる大切さを知ることができました。しかし今回はコロナ禍ということで患者との交流を見学することはできませんでしたが、以前とはまた違う学びを得ることができました。たくさんの貴重な体験をすることができて本当に良かったです。

看護師になる決意

新潟商業高等学校 3年 田代 蒼天



私は今回の看護体験で、看護師になりたいという気持ちが強くなったように思います。今回の体験では手術室で医療器具に触れてみたり器具の受け渡しをしたり、車いすやストレッチャーで人を運ぶ模擬体験だったり、貴重な体験をさせていただきました。その体験や体験中の看護師さんのアドバイスはどれも患者さんへの気配りがあるものばかりで、看護師さんの仕事は思いやりにあふれていると思いました。そして看護師さん同士の話で患者さんの状態の変化を共有していました。患者さんの状態を気にかけるのも気配りの一つだと思いました。私も思いやりをもって患者さんと接する看護師になれるようにこれから努力していこうと思える体験でした。

夢へと近づけた日

新潟向陽高等学校 3年 田屋 奈知



私は、看護師の仕事を知りたいという思いから看護師体験に参加させていただきました。新型コロナウイルス感染症防止の為に、実際に患者様に関わることはできませんでした。私がお世話になったあがの市民病院では、普段は入れない手術室や調剤室、放射線室、検査室などを見学させていただきました。見学させて頂いている中で“チーム医療”という他職種と連携し、スタッフ間のコミュニケーションを密にとり患者様のケアにあたっていることを学びました。他にも、診察前の患者様と笑顔でお話をしていたり、実際に現役の看護師さんに質問することもできました。

私はこの看護師体験を通して、もっと看護師になりたいと思いました。

夢へと近づけた日

北越高等学校 3年 宮内 木野花



私は新潟脳外科病院で看護師体験をさせていただきました。実際の病院を見学しながら現場で働く看護師の方々の話を聞くことで、看護師の仕事へのイメージがより具体的なものとなりました。

患者さんやその家族、また職員のいのち・くらし・尊厳を守り温かい看護を提供するという理念の通り、病院内でもそのような雰囲気が感じとられました。また、職員の目指すキャリアの実現を支援したり、働きやすい職場環境への取り組みもあると知りました。

看護師体験を通して、実際に病院の雰囲気や仕事の様子を見学することで、より自分の将来像を見据えることが出来ました。今回の経験を活かして理想の看護師を目指します。

命の尊さについて

新潟青陵高等学校 3年 渡辺 琴子



一日看護師体験を通して学んだことは、命の尊さについてです。当日、産後の母親と新生児の体調を観察する機会があり、母子ともに健康で過ごしている姿に感動しました。必ずしも、健康で生まれてくるとは限らないからこそ、懸命に生きている姿を見て、命は儂く大切に尊いものだと思えて実感しました。そして生きたくても生きることが出来なかった命があることに思いを馳せ、命があることに感謝をして生きようと改めて思いました。

私は、将来、看護師を志望していましたが、今回の一日看護師体験を通し、命が生まれる瞬間に立ち会える助産師という魅力的な選択肢も考えていきたいと強く思いました。

看護師の役目

新潟第一高等学校 3年 寺島 理々



私は、8月3日に新潟中央病院で看護師体験に参加した。そこでは看護師が病室に行って患者と接する様子を間近に見ることができた。看護師はただ淡々と決められたことをこなすだけでなく患者のささいな変化にもすぐ気づきその人に合った接し方をしているのが印象的だった。患者にとっては不安であるはずの入院生活も自分としっかり向き合って変化に気づきそれを踏まえて行動に移してくれる看護師の存在が、入院生活において安心材料の一つになっているはずだ。私はこの体験で改めて看護師が果たす役割の大きさやそれが患者に与える影響を知ることができた。将来、自分が理想とする看護師像に少しでも近づけるよう今は大学受験に全力を尽くしたい。

夢へと近づけた日

東京学館新潟高等学校 3年 関根 花音



私は今回一日看護師体験に参加して血圧測定や車イス操作など様々な体験をさせていただきました。実際に病院で働いている看護師と交流し、看護師の魅力をさらに感じることができました。体験の中で特に印象に残ったのはデイケアに通う方々と触れ合ったことです。そこでは楽しくお話をすることができ、看護の現場でも患者さんとのコミュニケーションは特に大切になってくるものだと実感することができました。

看護体験を通じて、改めて看護師になりたいという気持ちが強くなり、夢を実現できるように頑張ろうと思うことができました。このような貴重な経験をすることができて参加して良かったと本当に思えました。

看護体験を通して

新津高等学校 3年 吉田 夢姫



私は今回、下越病院で体験をさせていただきました。

今回は、新型コロナウイルス感染症の影響で、病院内を回ることができず、話を聞くことがメインでしたが、担当の看護師の方々のおかげで、看護師についてより興味がわき、なりたいという思いがより一層強くなりました。

話の中で、コミュニケーションや、相手のことを考えた言動をすることが大切だと聞き、私も今まで以上に自分の言動に気をつけ、相手が話しやすい看護師になりたいと思いました。

今回の体験を通して、より自分の夢が明確になり、目標に向かって勉強だけでなく、日頃の言動も意識していきたいと思いました。

初めての看護師体験をとおして 新津南高等学校 1年 本間 桜和



私は今回の一日看護師体験をとおして、自分が目指している職業に就くための第一歩となる良い機会にすることができました。看護師の皆さんはとても優しく、患者さんとお話をする際は、患者さんの目を見て笑顔でお話をされていました。患者さんへの思いやりが伝わってきて、やはり、看護師という職業は素晴らしいなと感じました。今回の体験は新型コロナウイルスの影響もあり、とても忙しい中で対応をしていただきました。このような時代だからこそ、医療従事者の大切さをより感じることができました。今回の看護師体験で本格的に看護師になろうと思いました。今回学んだことを活かし、将来人の役に立てる看護師になれるように努めたいです。

看護師の笑顔

新潟西高等学校 3年 渡辺 和



「看護師さんはいつも笑顔で接してくれるのよ。」そう話す患者さんの表情が印象に残っています。私は、私自身の小学年の時の経験から「看護」という仕事に興味を持ち、今回の「一日看護師体験」に参加しました。

実際に看護師さんの後ろについてみると、素早く臨機応変に対応し、患者さん一人ひとりの目線に合わせて笑顔で明るく接する姿を目にしました。何より驚いたことは、看護師さんの歩く速さです。とても忙しく一分一秒でも無駄にできないことがわかりました。

このような経験から体力と笑顔には、医療技術や薬にも負けない力があると感じました。私は常に笑顔で、患者さんの元気の源になれる看護師を目指していこうと思います。

看護をする上で大切なこと

巻高等学校 3年 山田 菜々美



私は看護体験で生の現場を見なければわからないことや、今の医療の現状を深く知ることができました。世の中には様々な人や家族形態が存在します。そういうことを踏まえた上で患者に接することが重要であり、考えの多様性を意識し尊重することが大切であることを学びました。

実際にナース服を着たり、普段から入ることのできない手術室で様々な医療器具を見たりしたことで、医療現場で働く自分を想像することができ、看護師を目指す決意がより一層深まりました。この貴重な経験を活かして医療についてさらに深く考え、自分は将来どのように医療の現場に貢献したいかをしっかり考えていきたいです。

初めての看護体験

巻総合高等学校 2年 阿部 杏香



今回初めて看護体験に参加し、看護師の皆さんが実際に働き、患者さんと接している姿を間近で見ることができ、とても良い経験になりました。

特に印象に残ったことは、看護師さんと一緒に病室へ行ったことです。高齢の患者さんには聞えやすいようにゆっくりと耳元で声をかけていました。一人一人の患者さんに合わせて対応や話し方を変えていて、患者さんに寄り添った看護ケアをしているのだと感動しました。看護体験を通し、看護師の仕事をより深く知ることができ看護師として働きたいという想いが強くなりました。この経験を活かし、地域の医療や福祉に貢献できるように頑張りたいです。

思いやりの心

新潟清心女子高等学校 3年 下條 由奈



私は今回の看護師体験で多くのことを学ぶことができました。特に私が印象に残っていることは患者さんへの「思いやり」です。過ごしやすい部屋の環境づくりや会話をする時には必ず肩をたたいてから話し掛け、相手が理解しやすい言葉を選ぶなど小さな工夫を行っていました。患者さんとの信頼関係の強さの裏には、看護師さんの患者さんに対する細やかな配慮があるからだと知ることができました。

今回の看護師体験は、自分の夢を具体的に描くとてもよい機会となりました。患者さんに寄りそい、信頼される看護師になるために日常生活から相手のことをよく考え「思いやり」を大切にしていきたいです。

目指す看護師像

日本文理高等学校 3年 錦澤 彩奈



私は患者さんやその家族の思いを傾聴し、個別性を考慮した看護を提供することができる看護師を目指している。同じ疾患であっても患者さんによって援助の内容や方法、疾患の進行度や経過は異なる。また、年齢の幅も広いため、その人の年齢に合わせた援助の内容や方法を考えていく必要がある。患者さんの思いをしっかりと聞き、意思を尊重することで、その人がその人らしく生活できるように関わり、個別性のある看護を提供していけるような看護師になりたいと考える。そのために、普段の生活の中で何事にも自分の価値観をおしつけるのではなく、相手の立場になって考え、行動していこうと思う。そして将来多くの人を幸せにしてあげたい。



私は今回、初めて看護師体験に参加させていただきました。コロナ禍のため患者さんとのふれあいはなかったのですが、看護師の方々のお話から多くのことを学びました。お話の中で一番印象に残ったのは、「座って勉強するだけでは全てを学ぶことはできない。現場でしか学べないことが多い。」という言葉です。この言葉から私は、患者さんに質の高い看護を行うために、現場で得られる学びや経験を生かすことが何より大切だと感じました。現場での経験を糧に日々努力を続け、患者さんの心に寄り添うことができる看護師になれるよう頑張りたいです。お忙しい中、このように貴重な機会を設けていただきありがとうございました。

初めての看護師体験をとおして 加茂高等学校 3年 小田 春菜子



今年の看護師体験は、新型コロナウイルス感染症の影響で、患者さんと実際に触れ合うことができませんでしたが、医療職のビデオ鑑賞をしたり、病院内を見学したりなど、とても充実した時間を過ごすことができました。これらの経験から、1人の患者さんを救うために様々な職種が連携し合っているということを感じることができました。その中でも看護師は、患者さんに最も寄り添う職業であり、患者さんとはもちろん、他の医療従事者ともコミュニケーションを密に取り合うという重要な役割を担っているのだと感じました。看護師の魅力を再認識でき、より一層看護師になりたい思いが強まった貴重な体験でした。

初めての看護師体験をとおして 加茂農林高等学校 2年 小熊 莉子



私は、高校一年生の頃に看護師になりたいと思い、今回看護師体験に申し込みました。

当日の体験では、実際に病院で働いている看護師さんから、看護学生時代の体験談や仕事のやりがいを聞くことができました。コロナ禍で患者さんとのふれあいはできませんでしたが、今、必要とされている手洗いの仕方やAEDの使い方を実際に自分で体験することで、改めて日頃から知っておくべきことだと痛感しました。

看護師体験を終えて、看護師の役目や大切さを身近に感じることができました。さまざまな話や体験を経て、自分が今からやっておくべきことや将来どのような看護師になりたいかを深く考えることができた一日でした。

看護体験に参加してみた

吉田高等学校 3年 若林 日菜花



看護体験に今回初めて参加して、看護職について学ぶことができました。患者さんに関わることができませんでしたが、院内ですれ違う時に見た、患者さんと接している看護師さんの様子を見て、表情・対話の仕方などたくさんを学ぶことができました。今回はコロナ禍で AED と手洗いについての体験でしたがとても勉強になりました。AED は何度か体験をしましたが、いつやっても緊張するものだと感じました。もし本番に出くわした時に冷静になれるかと改めて考えられました。手洗いでも普段がいかに適当だったのか思い知らされました。普通に行くことでも、何回しても、命に関わることで重大さが変わると改めて学べる体験となりました。

体験をして印象に残ったこと 分水高等学校 2年 永井 沙也加



私は、今回の看護師体験を通して印象に残ったことがあります。それは、手洗いや消毒の大切さと AED の難しさです。まず手洗いや消毒の正しいやり方を学び、自分の手洗いが不十分なことが分かりました。新型コロナウイルス感染症の感染予防からも今回学んだことを日常の習慣として行っていきたいと思います。次に AED の使い方を改めて学び、日常的に使うことがあまりないからこそいざとなったら使えるように覚えておくことが大切だと思いました。

今回の看護師体験は、看護師になるにあたって大切なことを教えてもらいました。今後また看護師体験の機会があれば是非参加したいです。

夢に向かって

燕中等教育学校 2年 千田 菜々美



私の夢は看護師になることです。以前から医療関係の職業に携わりたいと考えていましたが、昨今のコロナ禍で看護師になりたいという気持ちが大きく芽生えました。

今年度の看護師体験では、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点より、入院生活を送っておられる患者さんとの交流はできませんでしたが、AED や手洗いについて学ぶことができました。AED を使う場面では、声掛けと勇気を出すことが大切だということ、また、手洗いは毎日、疎かにすることなく続けることが基本であるということ、この2点が特に印象に残りました。

今回の体験で学んだことを将来、現場で生かしていけるよう努力していきたいです。

一日看護師体験

長岡高等学校 3年 乾 聖奈



一日看護師体験の中で「やりがい」についての話をして頂きました。治療を終え退院した患者さんからの感謝の手紙や声かけに嬉しさを感じると聞きました。思いやりの心をもって病気の患者さんやご家族に寄り添うのは大変だけど、とても素敵だなと感じました。

夜勤模擬体験では暗い中で患者さんの状態を確認することは、思っていた以上に難しく、緊張感がありました。

今回の体験は新型コロナウイルス感染症防止対策から中止になるかもしれないと言われていましたが、実現することができ嬉しかったです。この経験から、私は自分の進路について気持ちを固めることができました。一步一步夢に向かって努力していきたいです。

体験を通して印象に残ったこと

長岡大手高等学校 3年 武士俣 遥佳



私は、一日看護体験を通して、看護師は患者だけでなくその家族も支える存在だと感じました。私が体験に行った病院では、直接患者と触れ合う機会はありませんでしたが、その分看護師の方から詳しいお話を伺うことができました。そこで心の病を抱える患者の家族は、支える苦労が大きく、家族がうつ病になる場合もあることを知りました。そのため看護師は、患者だけでなく、その家族も注意深く観察し、異変に気づく力が必要だと感じました。今回の体験を通して、患者とその家族に信頼される看護師になるという目標に対して、自分を見つめ直す良い機会となりました。今後はこの経験を活かして、将来の理想の看護師像を明確にしていきたいです。

看護体験をとおして

長岡向陵高等学校 3年 長谷川 優空



私は、この看護体験を通して、やはり、看護師に必要なことは、技術だけでなく、患者さんを安心させられるような優しい笑顔と、心に寄り添えるようなコミュニケーション能力だなと感じました。私がお世話になった病院の看護師さんは、今思い返すと、真顔の瞬間など1秒たりともありませんでした。私たちに説明をして下さる時も、優しく、ずっと笑顔で話されていて、私の緊張や不安でカチカチだった心と体も、すぐにはぐれました。

私は大学に行ったら、看護学にプラスしてコミュニケーションや、精神医学についても学んでいきたいです。お世話になった看護師の皆さんみたいになれるように、これからも勉強をがんばります。

看護師体験で学んだこと

長岡商業高等学校 3年 穴澤 海希



私は初めての看護師体験をとおして、印象に残ったことが2つあります。1つ目は車いす体験です。患者の立場になって車いすに乗った時、速度がとても速く感じて怖かったです。実際に体験をすることでさまざまな配慮が必要だと気づき、声をかけることが大切だと感じました。

2つ目は病棟見学です。病棟では看護師が笑顔で患者に話かけ、とても楽しそうに話をしていました。その光景を見てコミュニケーションの大切さを改めて感じました。

体験では多くのことを学べました。学んだことを活かして、自分の夢である看護師に向かって日々努力をしていきたいです。

看護師体験をとおして

見附高等学校 3年 土田 るい



私は三之町病院で一日看護師体験をさせていただきました。看護師体験をとおして私はとても勉強になりました。看護師の役割・看護の仕事についてまた、看護職についての話や准看護師と看護師の違いなどの話を聞き、色々なことを学び自分も看護職に就き人の役に立ちたいと深く感じました。また、看護の先輩から話を聞いて看護師のやりがいや私が一番近い目標である看護学生時代の話をさせていただきました。想像していた通り実習や国家試験勉強は大変だったそうです。でも、自分が就きたい職業に就くには越えていかなければならないし、周りも頑張っているから頑張れたと言っていて、私もそんな先輩になれるよう少しずつ頑張っていこうと思います。



看護師として

小千谷西高等学校 3年 小林 美郁



私は今回、初めて一日看護体験に参加しました。魚沼基幹病院で実際に働いている看護師の方々の貴重なお話をたくさん聞くことができ、自分の進路の新たな資料を得ることができました。病院内の見学や体験をしていく中で特に印象に残ったのが、新型コロナウイルス感染症の方に対応する時に着用する防護服を着る体験です。自分が想像していた以上に動きにくく、暑かったです。それを着て患者さんへ対応する看護師さんはとても強くてかっこいいなと思いました。

現代は少子高齢化が進んでおり、看護医療の職業は、ますます必要性が高まります。社会に求められる看護師の一員となって活躍ができるようにこれからの勉強や活動を頑張ろうと思いました。

体験をして印象に残っていること 帝京長岡高等学校 3年 姉崎 聖菜



私が看護体験をして印象に残っていることは2つあります。

1つ目は、コロナウイルスの感染者と接する時の防護具の着脱を体験したことです。様々な手順があり、何回も消毒を行います。脱ぐ時でさえも油断をしてはならないと知りました。

2つ目は、車椅子の種類の多さに驚いたことです。両脇の取っ手部分が取りはずせたり、背もたれの部分を動かせたりなど、様々な患者に合わせて車椅子を使い分けていることを知りました。もっともっと便利な道具が増えていったら生活が楽になると思います。

今回体験できたことを今後の看護学校での学習にいかしていきたいと思います。

看護師体験を通して

小出高等学校 1年 小杉 美月



私は魚沼基幹病院で体験をしました。周りは他の高校の3年生だらけで不安でした。ですが3年生の方々は進路を具体的に決めて進路実現のため努力をされていて、その姿を見て私も進路を実現できるようにがんばりたいと思いました。この体験で実際に看護師として働いている方にたくさん質問をできたのがとてもためになりました。看護師という職業は仕事内容も多く、人の命を預かるという責任がある大変な職業ですが、その分やりがいを感じることができるすばらしい職業であると分かりました。今回のこの体験でより看護師になりたいという強い意志を持つことができました。進路実現のために更に勉強をがんばっていききたいと思います。

初めての看護体験をとおして 国際情報高等学校 2年 中川 瑞季



今回看護体験の中で、看護師の仕事だけでなく、患者の体験もたくさんさせていただいた。実際に看護される側になることで、どのように看護すればよいのか分かった。車いすの補助でも、段差を超えるときは大きい車輪から超えさせるほうが衝撃が小さかった。また、ストレッチャーを移動させる際、足を進行方向に向けて動かすと行き先が見えて安心できる。そういった看護師さんの丁寧で細かい配慮を知ることができ、人の命に対する責任感や仕事に対する誇り、患者への温かい思いやりなど、看護学の素晴らしさと魅力を改めて実感した。新型コロナウイルス流行の中、貴重な機会を作ってくださった看護師の皆様に、感謝を伝えたい。

新たな魅力の発見

六日町高等学校 2年 山口 友希



私はこの看護師体験を通して、看護や医療についての知識を多く学ぶことができ、看護師の新たな魅力の発見がありました。看護師の仕事の一つに夜間勤務があり、それを少し体験させてもらいました。患者さんが寝ているのでどこに気を配れば良いか、どのような仕事をするのか学びました。他にもストレッチャーや車いすを利用した患者さんの運び方も教わって体験しました。私は以前から人の役に立てる仕事がしたいという夢がありました。患者さん一人ひとりの命と向き合い、寄りそう看護師はすばらしい職業であり、私の目標です。このコロナ禍でも貴重な体験ができ、また、医療現場が逼迫している現在の医療体制を知ることができ、勉強になりました。

看護師体験に参加して

八海高等学校 3年 矢代 塔子



私は今回の看護師体験で、当直体験をしたことが特に印象に残っています。当直体験では、暗い病室に入り、小さなライトだけで患者さんの様子や点滴が外れていないかどうか確認をしました。新型コロナウイルスの影響もあり、実際に病棟に行き患者さんの介助体験ができませんでした。防護服一式の装着、車いす・ストレッチャーの体験など普段は体験できない貴重な体験をすることができました。

私は将来、看護師になり人の手助けをしたいと考えています。今回の体験は自分の夢に近づく一歩になったと思います。

看護師体験を通して

十日町高等学校 3年 小野塚 日和



私は今回の一日看護体験でたくさんを知り、自分の目指す看護師について学ぶことができました。

実際に患者さんの対応をした時はとても緊張しましたが、看護師の方がいつも患者さんと話すときに大切にしていることを間近で見ることができました。1人ひとりに寄り添っているのを肌で感じ、私も人の気持ちに寄り添い役に立つことができる看護師になりたいと思いました。看護師という職業はやりがいや感動を与えてくれるかけがえのない仕事だと教えていただき、看護師になりたいという思いがさらに強くなりました。

一日看護体験を通して学んだことをこれからの進路に生かして憧れの看護師になることができるように努力していきたいです。

看護師体験で心に残ったこと 十日町総合高等学校 2年 岡村 楓翔



看護体験を通して私は心に残ったことが2つあります。1つ目は仕事風景です。看護師さんたちは連携しながら、1人1人の患者に笑顔で優しく接していました。また、行動も速く、忙しい中で私に仕事を教えてくれたのはすごいと思いました。もう一つは看護師のやりがいです。午後の座談会では看護師さんと体験や感想を共有しました。その中であった「人を笑顔にできる」や「人と話すことが楽しい」などの言葉にはとても共感することができました。看護師さんたちに比べ、私には足りないものが山ほどあります。今後は、看護師さんの仕事している姿で見つけた大切なことを実現できるようにこれから努力していきたいです。

看護師体験をとおして

津南中等教育学校 3年 小林 菜桜



私は、松代病院での高校生一日看護師体験に参加させていただきました。

始めに、訪問看護の様子を見せていただきました。患者さんの診断と家族の方との話し合いを一人でこなしている姿を見て、大変だけどその分やりがいのある仕事だと思いました。また、車椅子やストレッチャーの操作について教えていただきました。乗っている間は視点が低く、ゆっくり押されていても遠いと感じて怖かったです。

今回の看護師体験は普段できない貴重なものでした。この経験を活かして、今後の進路や将来の夢に向けてがんばっていきたいと思います。本当にありがとうございました。

一日看護体験を通して

柏崎常盤高等学校 3年 高橋 りな



私は一日看護体験で厚生連柏崎総合医療センターに行き、車いす体験や先輩看護師の方からのお話を伺いました。

車いす体験では、人をのせて安全に動かすことの難しさがわかりました。また、患者さんは車いすの移動のときに恥ずかしさや不安を感じることもあるので、そのことを軽減できるように声かけなどが必要だということも実感しました。

先輩看護師の方とのお話

しでは、仕事内容や仕事をする上での大変さを知ることができました。その一方で、多くのやりがいがあることも教わりました。

一人ひとりと向き合う看護師になれるよう決意を新たにしました。

体験を通して印象に残っていること

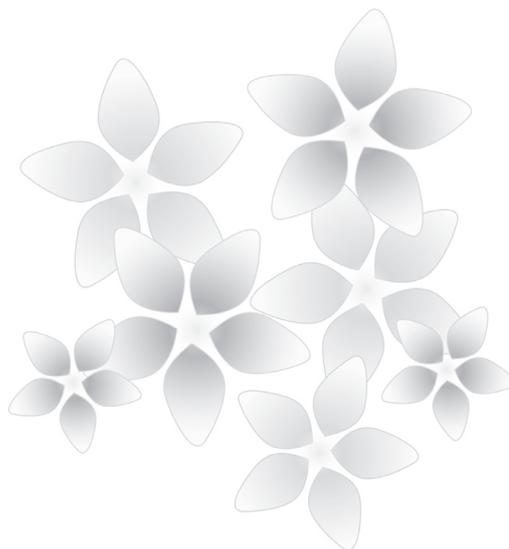
柏崎総合高等学校 3年 澤田 安純



私は看護師という仕事についてより深く学びたいと考え今回の看護体験に参加しました。

私が体験をした病院は精神病院でした。想像していたものとは違い、入院患者さんは自立している方が多く社会復帰に向けて食事を病室ではなくホールで食べる場面では、精神病院での工夫を感じました。特に、看護師の方が日常会話を通じて変化に気づき患者さんの気持ちを読み取ってすぐに対応していたことがとても印象に残っています。心の病と向き合うには、会話や行動から小さな変化を見抜く力が重要だと知ることができました。

今回の体験から精神疾患についてより興味を持ちました。看護学校で知識を身につけ患者さんの心に寄り添える看護師を目指します。



“白衣の天使”の偉大さ

高田北城高等学校 3年 岩井 由奈



私は今回この看護体験という貴重な経験を通して、多くの学びを得て、自分自身の目標に対する強い意志を持つことができました。

実際に現場で働いている看護師の方々を見ていて、最も印象に残っていることは看護師の方々の偉大さです。患者さんにそれぞれ合ったケアを常に考え、細かい変化にも気づき、すぐに行動に移す姿がとても格好良いと感じました。また、患者さんの考えを否定するのではなく、温かく受け入れ寄り添っている姿にも感動しました。

看護体験を通して、身体だけでなく心身もケアできる看護師になるという夢を持つことができました。この経験を糧に、日々努力していきたいです。

夢へと近づけた日

関根学園高等学校 3年 岩下 真菜



私は今回の体験を通して看護師になりたいという思いが強くなりました。

私が体験した病院は寝たきりの患者さんが多く、見慣れていなかったため少し驚きました。たとえ目が閉じていても、会話ができなくても患者さんは、うなずいたり、手を動かしたりします。欠かさず声をかけ、その人に合った声の大きさ、口調で話している様子を見て改めてコミュニケーションの大切さに気づきました。食事介助では、常に患者さんの様子を観察し、主食、副食、水分とバランスよく患者さんを第一に考え介助していてすばらしかったです。

看護師の仕事を実際に見ることができ、とても有意義な体験でした。

看護師の方々から学んだこと

佐渡高等学校 2年 北見 凜夏



今回体験に参加して、改めて看護師という職業のカッコよさを知りました。常に思いやりをもって患者さんと向き合い、誠心誠意支えている姿を見て、これは沢山の人の関わり、考え、何度も行動した結果なのだなと思いました。他にも、看護師とは人を支えるお仕事だとばかり思っていたが「沢山の人の話を聞くことで、沢山の知恵をもらう」という話を聞き、看護師さんも患者さんに沢山の支えられていることが分かりました。私もその考えを私生活に取り入れようと思いました。最後に、看護師はカッコいいお仕事ではありましたが、やはり責任も重く、生半可な気持ちでは就いてはいけないと思いました。今回の体験はとても貴重なものとなりました。

よりよい環境を

羽茂高等学校 3年 小林 正典



私は看護師になりたいと思っています。そのため、知識を深めたいと思い、佐渡総合病院で高校生一日看護師体験に参加しました。その中で一番印象に残っているものは、ナイチンゲールの言葉で、「最も良い状態に患者を置くこと」です。これはよりよい環境が患者さんの治癒力を高めるということを言っています。それを知り、私は看護師として、環境に対する意識を高めたいと思うようになりました。良い環境を作ることは患者さんだけでなく周りの人にとっても気持ちが良いことです。日々の生活から、場や空気、道具の汚れに気づき、よりよい環境を作れるように感性を磨いて、立派な看護師になれるように努力していきます。

看護師体験を通して

佐渡中等教育学校 1年 歌 真麻



看護師体験を通して、看護師の役割を改めて知ることができました。体験前は、看護師の役目は医者をサポート、患者の面倒を見ることなどだと考えていました。しかし、看護師の役目はそれ以外にもあることが分かりました。例えば、完治後に住んでいる地域で生活ができるようにつなげることや、患者の能力を最大限に引き出すための手伝いをする事です。入院中だけでなく、退院後のこともしっかり考えていました。看護師は患者の生命に深く関わり、患者にも支えられながら、知識と人間性を高めることができる仕事であると学びました。

看護師体験を通して、更に看護師になりたい気持ちが高まりました。

体験を通して印象に残ったこと

佐渡総合高等学校 3年 塚本 こなつ



私が今回の看護体験で一番印象に残っていることは、感染症対策の防護服を着たことです。ニュースなどでは見たことがあったのですが、自分が着て動くことは初めてでした。防護服を着ると普通に歩くだけでもとても大変でした。そして、数分しか着ていないのに脱ぐとマスクやゴーグルのあとがのこって、痛かったです。コロナの最前線で働く看護師の方たちは、この防護服を着て数時間ほど働くと聞き、とても驚きました。私が看護師になるためには今よりももっと体力をつけなければいけないと思いました。この看護体験を通して看護師になりたいという思いが強くなりました。看護師になれるように今できることから一生懸命頑張りたいと思いました。

協力病院担当者からの声

この体験を通じて看護師になろうと思った、人を助けたい思いが強くなったことを知り、嬉しく感じました。

看護師をめざす高校生が喜んでくれて、受入病院としてやりがいにつながりました。今後も受入を継続していきたいです。

コロナ感染対策により患者との接触を避け、病棟では見学実習としました。座談会での高校生の声から、病棟実習を体験してコミュニケーションが大切、人を見る仕事、変化をいち早く気づいて対応し、いろいろな人が共存して協力しあっていた、などの声がありました。短時間での病棟見学実習でしたが、多くの学びがありました。

実技演習では、手指衛生の必要性と手洗いチェッカーを用いた擦式アルコールと手洗いの実施と、感染予防衣の着脱方法、血圧測定、車椅子移送を実施しました。高校生の体験場面の様子から、興味を持ちながら実施していました。企画としては成果があったように思います。

患者さんと接することができなかったことは残念ですが、デイケアを見学体験してもらったことで、様々な職種がそれぞれの専門性をもった視点でみていることを知ってもらえて良かったです。

高校生から、看護師からの話を聞いたことが印象に残ったとの声が聞かれ、喜ばしく思いました。

コロナ禍での体験学習となりましたが、体験学習前より健康チェックや受入の要件の遵守も含めて、体験学習をする姿勢で取り組みました。体験プログラムは対応者を限定したり、リモートで他職種や先輩ナースにインタビューをしたりと、感染対策に気を使いました。例年にはない、防護具の着用、手洗いチェッカーの実施等、他医療機器にも多く触れてもらい、体験内容も充実していたと思います。

コロナ感染対策で、今までの体験とは時間や内容を変え、2時間という短い時間の中でも高校生の皆様に看護師の仕事の魅力、また大変さを知っていただけたのは良かったです。また、参加した看護師たちも、看護を語るができる場となり、改めて仕事のやりがいを実感できました。お互いに満足できた企画となりました。

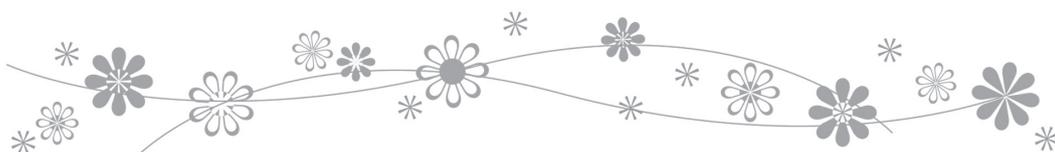
コロナ禍の受入で、患者さんと直接触れ合う体験は設けられなかったけれど、看護師の工作中的姿、職場の空気感を感じてもらうことや、車椅子等援助体験を通して看護師へのイメージがつかめる機会として、有効だったと思います。今後も継続して看護の道を目指す人材の育成に参加していきたいと思います。看護師になりたいと思う気持ちをもってもらえたことは、嬉しい結果です。

高校生が何事にも緊張しながら体験している様子は、新鮮に感じました。半日と短縮して行いましたが、高校生の職業選択の力になれることは嬉しいかぎりです。看護師体験は大切であると思いました。

新人看護師との座談会を設けましたが、高校生にとって刺激になったようです。また、当院の新人もまだまだ悩みが多い時期ですが、フレッシュな気持ちに触発されてか、全員とてもいい表情で話しが弾んでいました。

高校生の明るい笑顔に、職員も元気をもらえました。笑顔の大切さを実感しました。

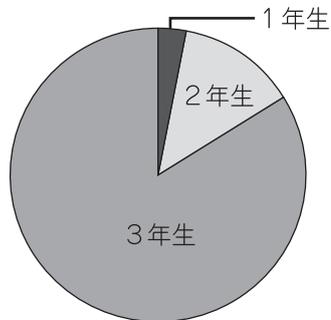
コロナ禍において受け入れるか迷いましたが、やり方を工夫することで体験の機会が得られ、よかったと思います。参加した高校生の反応がよく、感性の高さが感じられ、私共も良い刺激を受けました。



参加生徒アンケート結果

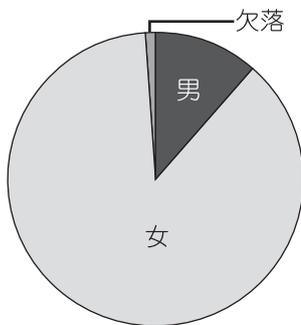
参加者：323名 回答：319名 回答率：98.8%

1 学年



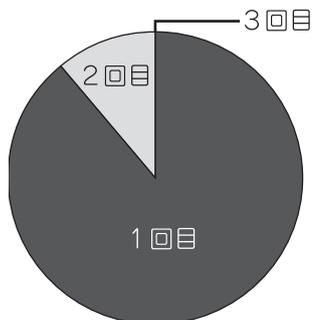
1年生	10人
2年生	42人
3年生	267人

2 性別



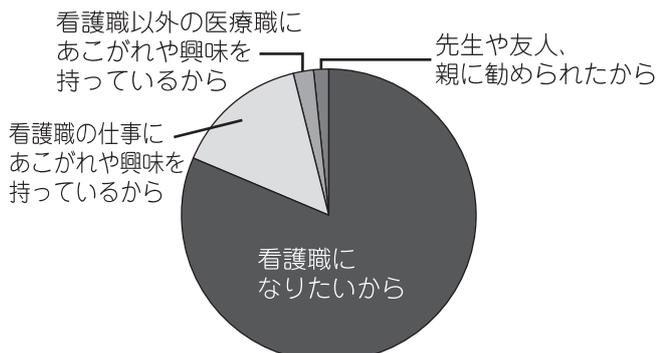
男	37人
女	279人
欠落	3人

3 体験に参加した回数



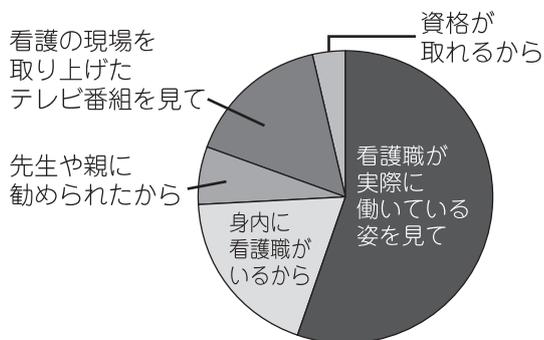
1回目	284人
2回目	35人
3回目	0人

4 参加した動機



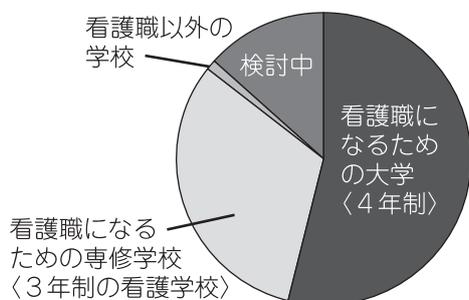
看護職になりたいから	260人
看護職の仕事にあこがれや興味を持っているから	47人
看護職以外の医療職にあこがれや興味を持っているから	7人
先生や友人、親に勧められたから	5人

5 看護職になりたいと思ったきっかけ（4で看護職になりたいと回答した人のみ）



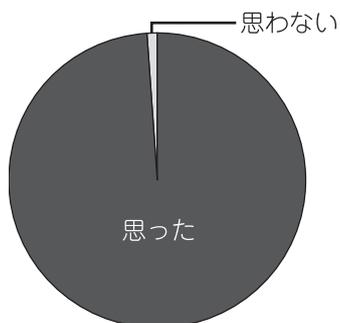
看護職が実際に働いている姿を見て	144人
身内に看護職がいるから	49人
先生や親に勧められたから	17人
看護の現場を取り上げたテレビ番組を見て	41人
資格が取れるから	9人

6 現在の進路希望



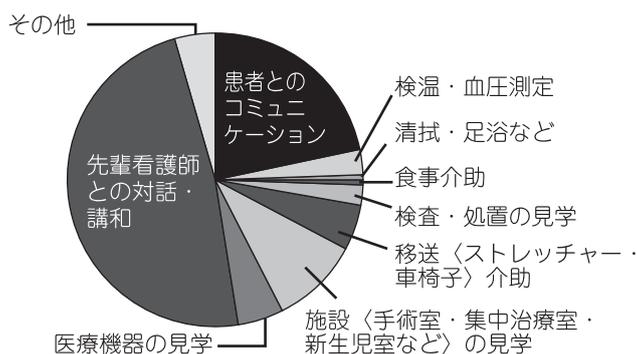
看護職になるための大学〈4年制〉	172人
看護職になるための専修学校〈3年制の看護学校〉	101人
看護職以外の学校	4人
検討中	42人

7 体験に参加して看護職になりたいと思ったか



思った	316人
思わない	3人
3回目	0人

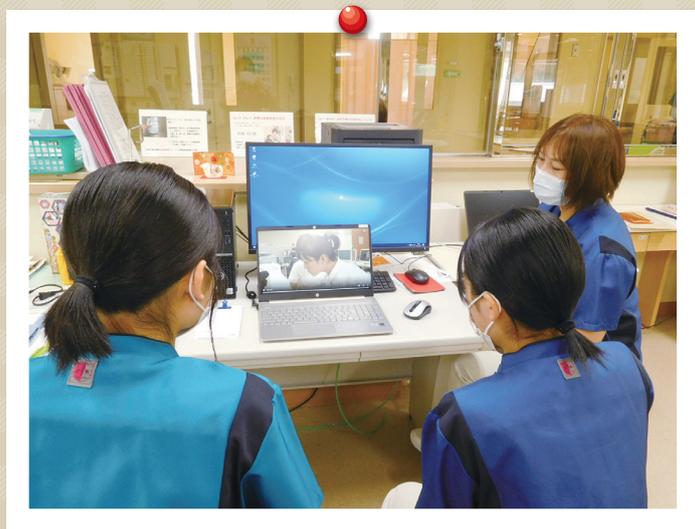
8 体験の中で一番印象に残ったこと



患者とのコミュニケーション	70人
検温・血圧測定	8人
清拭・足浴など	2人
食事介助	2人
検査・処置の見学	7人
移送〈ストレッチャー・車椅子〉介助	16人
施設〈手術室・集中治療室・新生児室など〉の見学	31人
医療機器の見学	16人
先輩看護師との対話・講和	153人
その他	14人

「一日看護師体験」の様子









協力病院実施状況

No	施設名	実施日	実施人数
1	有田病院	8/18 (水)	2
2	五日町病院	8/10 (火)	2
3	魚沼基幹病院	8/4 (水)・8/5 (木)	27
4	大島病院	7/29 (木)	4
5	下越病院	7/29 (木)	19
6	柏崎厚生病院	8/3 (火)	3
7	黒川病院	7/29 (木)・8/4 (水)	5
8	桑名病院	8/10 (火)	2
9	県立柿崎病院	7/29 (木)	4
10	県立精神医療センター	7/29 (木)	5
11	県立松代病院	8/4 (水)・8/6 (金)	8
12	県立吉田病院	8/10(火)	4
13	厚生連あがの市民病院	7/29 (木)	4
14	厚生連柏崎総合医療センター	8/4 (水)	15
15	厚生連佐渡総合病院	8/3 (火)	16
16	厚生連三条総合病院	7/30 (金)	6
17	厚生連豊栄病院	8/5 (木)	5
18	厚生連新潟医療センター	8/4 (水)	10
19	厚生連真野みずほ病院	7/30 (金)	2
20	厚生連村上総合病院	8/6 (金)	8
21	河渡病院	8/5 (木)	6
22	国立病院機構西新潟中央病院	8/3 (火)	12
23	五泉中央病院	8/4 (水)	8
24	済生会三条病院	7/30 (金)	8
25	三交病院	8/12 (木)	1
26	三之町病院	7/29 (木)・8/5 (木)・8/6 (金)	30
27	新発田リハビリテーション病院	8/6 (金)	3
28	白根大通病院	8/4 (水)	6
29	末広橋病院	7/30 (金)	3
30	関病院	8/3 (火)	1
31	竹山病院	7/29 (木)	3

No	施設名	実施日	実施人数
32	知命堂病院	8/4 (水)	6
33	長岡保養園	8/10 (火)	3
34	長岡療育園	8/10 (火)	2
35	南部郷厚生病院	8/4 (水)・8/5 (木)	2
36	新潟聖籠病院	7/30 (金)・8/10 (火)	6
37	新潟中央病院	8/3 (火)	6
38	新潟手の外科研究所病院	8/4 (水)	1
39	新潟西蒲メディカルセンター病院	8/12 (木)・8/19 (木)	7
40	新潟脳外科病院	8/5 (木)・8/10 (火)	7
41	新津医療センター病院	8/10 (火)	6
42	西蒲中央病院	7/29 (木)	1
43	日本歯科大学新潟病院	7/30 (金)・8/6 (金)	8
44	東新潟病院	7/30 (金)	2
45	三島病院	7/30 (金)	3
46	みどり病院	8/4 (水)	5
47	南魚沼市民病院	8/11 (水)・8/12 (木)	11
48	南魚沼市立ゆきぐに大和病院	8/3 (水)	4
49	村上記念病院	8/2 (月)・8/16 (月)	8
50	村上はまなす病院	8/4 (水)	3

看護とは、新鮮な空気や陽光、あたたかさや清潔さや
静けさを適正に保ち、食事を適切に運び管理する—
すなわち、患者にとっての生命力の消耗が最小限にな
るようにして、これらすべてを適切に行うことである。
という意味を持つべきなのです。

フロレンス・ナイチンゲール著「看護の覚書」より

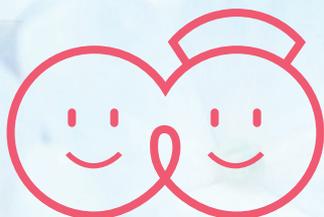
令和3年度 一日看護師体験

令和3年11月発行 第三号

公益社団法人 **新潟県看護協会**

〒951-8133 新潟県新潟市中央区川岸町2-11

TEL:025-265-1225



看護の心をみんなの心に

5月12日は
看護の日